



2018年12月 MSCニュースレター

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

目次



マーケット情報

- ・楽天の新ショッピングサイトでMSC認証商品が購入可能に p.4

漁業情報

- ・インドネシアの一本釣り漁業が同国初のMSC認証を取得 p. 6
- ・オーストラリアのマイワシ漁業がMSC認証を取得 p. 7

その他

- ・イオンとパナソニックがMSC認証水産品の取扱いで受賞 p. 9
- ・MSC 認証取得状況 p.10

マーケット情報



楽天の新ショッピングサイトでMSC認証商品が購入可能に



2018年11月29日

楽天株式会社が、持続可能な消費を提案する「EARTH MALL with Rakuten」をグランドオープンしました。目指しているのは、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の目標12「つくる責任つかう責任 (持続可能な消費と生産のパターンを確保する)」への貢献です。

サイト内では、「未来を変える買い物を。」というスローガンのもと、「楽天市場」で購入できる未来の環境、社会、経済に配慮してつくられた商品を紹介しています。

グランドオープンの時点ではMSC認証を含む6つの認証ラベルを紹介。国際フェアトレード認証やFSC認証など、気になる認証をクリックすると、認証ラベル付き商品が検索結果として現れ、すぐには買える仕組みになっています。

※「EARTH MALL」とはSDGsを実現する未来へのアクションを創りだし、株式会社博報堂が社会実装を担っている有識者のプラットフォーム「OPEN 2030 PROJECT」から生まれたプロジェクトです。「EARTH MALL with Rakuten」は、楽天と「EARTH MALL」のコラボレーション・プロジェクトによる特設サイトです。

「EARTH MALL with Rakuten」リンク: <https://event.rakuten.co.jp/earthmall/>

楽天株式会社プレスリリース: http://corp.rakuten.co.jp/news/press/2018/1129_03.html

記者発表会の様子(MSCブログ): <http://msc-japan.blog.jp/archives/77838384.html>



画像参照元: [楽天プレスリリース](#)



EARTH MALL with Rakuten
シンポジウムのフォトセッション。左から:
楽天株式会社 眞々部貴之氏
楽天株式会社 小林正忠氏
慶應義塾大学大学院 蟹江憲史氏
一般社団法人エシカル協会 末吉里花氏
イーザッカマニアストアーズ 浅野かおり氏
株式会社博報堂 小田部巧氏

漁業情報



インドネシアの一本釣り漁業が同国初のMSC認証を取得



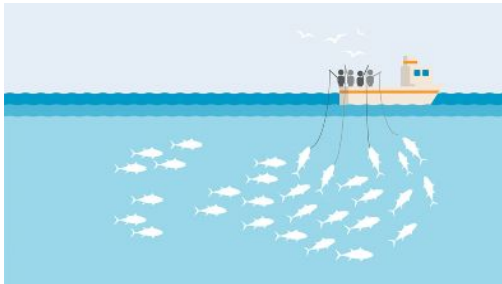
2018年11月22日

Citraraja Ampat Canning 有限会社 (CRAC社) による西パプア州ソロンを拠点としたカツオ・キハダマグロー一本釣り漁業が、インドネシア初、そして東南アジアで2番目となるMSC認証を取得しました。

CRAC社の一本釣り漁業は、固定の人工集魚装置 (FAD) である係留ラフトを用い、魚を1尾ずつ丁寧に獲っており、生態系に与える影響が少ないのが特徴です。審査を行なった機関DNV GLは、この漁業が「MSC漁業規準が要求する高い水準の持続可能性を満たす漁業である」としました。

ただし、DNV GLは今後の状況を見据え、これから5年以内に満たさなければならない条件も提示しました。この条件の中には「健全なカツオ・マグロ資源を維持するための漁業方策」と「漁獲制御ルールの改善」という項目もあります。

インドネシア海洋水産省 (MMAF) は他の国々と共に必要な措置をとることに合意。世界のカツオ・マグロ類の水揚げの60%を管理する、中西部太平洋マグロ類委員会 (WCPFC) の他の加盟国との協働を目指します。



オーストラリアのマイワシ漁業がMSC認証を取得



2018年12月6日

南オーストラリア州のマイワシ漁業がMSC認証を取得しました。

このマイワシ漁業では、カリフォルニアマイワシ (*Sardinops sagax*) の群れをソナーで見つけた後に網で囲み、漁船近くまで網を引き込んで獲っています。網にかかる魚のうち99.17%がマイワシなので、環境や生態系への影響を最小限に抑えられます。

マイワシ漁業の発展とMSC認証の取得は、政府機関PIRSA (南オーストラリア州第一次産業資源省) とマイワシ産業が手を取り合って持続可能な漁業の枠組みを確立したことにより、実現できました。実際、この地域のマイワシの商業漁業による年間水揚げ量は、始まった当初 (2000年) の5000トンから42000万トン (2018年) に増えています。

オーストラリアの水産物で最大の漁獲量を上げているマイワシが認証を取得したことで、今後、オーストラリアの天然水産物の38%がMSC認証製品になります。



© South Australian Sardine Industry Association

その他

今日の魚のとり方は、
未来につながっている。



選ぼう。海のエコラベル



イオンとパナソニックがMSC認証水産品の取扱いで受賞



2018年12月

イオンとパナソニックが、MSC認証水産品の取扱いにおいてそれぞれ以下の賞を受賞しました。

■イオン株式会社： 第19回グリーン購入大賞「大賞・農林水産大臣賞」

評価ポイント 水産資源の持続可能性に注目が集まる中、いち早く2006年から10年以上取り組み続け、認証製品の売り上げを伸ばしている点、持続可能な調達方針を策定し、サプライヤーに対して意志と方向性を明確に示していることは、他社への手本となる。

グリーン購入ネットワークのプレスリリース：http://www.gpn.jp/press_release/G_taisho/release_181121.pdf

■イオン(株)、イオンリテール(株)、イオントップバリュ(株)： 第1回エコプロアワード「奨励賞」 持続可能な水産物調達方針およびFish Baton(フィッシュバトン)の取り組みで受賞。

第一回エコプロアワード審査結果：http://www.jemai.or.jp/ris/1st_eco-pro_award_results.html

■パナソニック株式会社： 生物多様性アクション大賞 2018 優秀賞 えらぼう部門

評価ポイント： 持続可能な生産体制のもとで採られた魚介類「サステナブル・シーフード」を食材として社員食堂に導入し、MSC、ASCなどを代表とするサステナブルな認証制度の認知向上を図っている。持続可能な食材選択によるコスト上昇があるにもかかわらず、継続して実施している点は称賛に値する。MSCとASCの流通に関わるCoC認証を取得したフードサービス会社と連携するなど、サプライチェーン全体としての取り組みになるなど徹底した姿勢が評価された。

環境省プレスリリース：<https://www.env.go.jp/press/106127.html>



12月6日、エコプロ2018の会場で表彰されるイオン(株)のグループ環境・社会貢献部の金丸春子部長(東京ビッグサイトにて)



12月7日 東京ビッグサイトで表彰されるパナソニック(株)のCSR・社会文化部の福田里香部長

MSC 認証取得状況



【MSC認証】(2019年1月8日時点)

□ 漁業認証取得漁業数:

世界・・・362件 / 日本国内・・・4件

□ 漁業認証審査中漁業

世界・・・87件 / 日本国内・・・3件

□ CoC認証取得者数

世界・・・4,508件 / 日本国内・・・199件

□ MSCエコラベル付き製品数:

世界・・・35,000点以上 / 日本国内・・・696点



@Philip van Ierschoot



このニュースレターに関する問い合わせ先
MSC(海洋管理協議会)日本事務所
広報担当: 牧野
Tel: 03-5623-2845
Email: MSCJapan@msc.org

@Marine Stewardship Council
